



吉 水

12月1日現在〈前月比〉	
65歳以上男	1,525人〈-4〉
65歳以上女	1,773人〈+9〉
高齢化率	19.48%〈+0.02〉

発行 吉身学区社会福祉協議会

シリーズ 各種団体紹介

～ 母子福祉のぞみ会 ～

会長 中島みどり

戦後、お父さんを戦争で亡くした母子家庭等の苦しい生活を何とかしなくてはと立ち上がってつくられた「のぞみ会」は、全国の母子寡婦福祉の基礎を築き上げました。そして今年で67年目を迎えました。昨今のひとり親家庭の生活状況もずい分変わってきましたが、まだまだ苦しいのに変わりはありません。

私たち「のぞみ会」はひとり親家庭の親のために就職相談や子育て、生活支援等を行い、又生活向上の為のさまざまな支援等を市や県、国に要望し努力をしています。のぞみ会本部では毎月2回、子ども食堂やボランティアによる学習支援等も開催しています。

また、親と子に楽しく過ごしてもらいたいと「親と子のスポーツ大会」や「ふれあい広場」、そして「寡婦のつどい」も行っています。しかし年々、会員の高齢化が進み若い会員の入会も少なく頭の痛いところです。

ひとり親家庭の皆さん、私たちと一緒に少しでも楽しい生活が送れるように手を取り合ってくださいませんか？また、賛助会員になって頂ける一般会員様をお願いすると共にこれからも一人親家庭へのご理解とご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

プロバスケットBリーグ1部の滋賀レイクスターズの全試合に県内のひとり親家庭や福祉団体の子どもたちなどを招待していただいています。試合前のいろいろなパフォーマンスや迫力のあるプロの技を観に行きませんか？ご希望の方は中島（☎582-0938）までお申し出ください。



福祉講演会(広報部会)



12月10日(土)吉身会館大会議室に西村秀樹さんをお迎えして「触る文化と見る文化」と題した福祉講演会を開催しました。27歳から全盲になられた西村さんのお話は、視覚障害者の日常生活の大変さを知るとともに、これからは困っている人を見かけたら、積極的に声をかけていきたいと思えるきっかけとなりました。



伝えていきたい伝統あそびと文化(ボランティア部会)

12月22日(火)子ども達に日本の伝統的なあそびを体験してもらおうと、「伝えていきたい伝統あそびと文化」を開催しました。吉身小学校と立入が丘小学校の児童44名が参加し、たこ、万華鏡、コマ回し、めんこ、百人一首、かるたなどであそびました。



万華鏡作り



めんこ



百人一首



たこあげ



給食サービス(赤十字奉仕団)



12月13日(火)吉身学区赤十字奉仕団9名の方による心のこもった手作りのお弁当を学区内25名のひとり暮らしの高齢者の方へ、お届けしました。

